

言葉が開き、空間が語る世界
―スペイン語圏から京都へ、響き合う4つの旅―

時　間　17:00～19:00

参加方法　右のQRコードより事前登録をお願いします。
オンライン参加の方は講座前日に参加URLを
ご登録いただいたメールアドレスにご案内します。

事前登録↓
https://x.gd/MGkKd

Schedule

トークとピアノ演奏　　会場：以学館IG102 ＋ ZOOMウェビナー

第1回　10/9（金）「音を拾いに、世界へ。～鍵盤は、地球をめぐる線路 スペイン語は、出会いの扉を開く鍵～」

会場：平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム ＋ ZOOMウェビナー

第2回　10/16（金）「ことばの現在地とアイデンティティ　ースペイン語・ガリシア語・カタルーニャ語のダイナミズムと日本ー」

第3回　10/23（金）「移動する人々と育まれる言葉と文化　ー日本におけるスペイン語教育とスペインにおける日本語教育ー」

第4回　10/30（金）「スペイン語圏の建築と風景、そして私の仕事」

京都とサンティアゴ・デ・コンポステーラは、ともに長い歴史をもつ巡礼の地です。本連続講座では、この二つの都市を一つの手がかりとして、スペイン語圏と日本の文化について、音楽、言語、教育、建築という四つの観点から考えます。人は移動し、異なる文化や言語をもつ人々と出会い、地域に新たな関係や文化を形づくってきました。そうした人々の営みは、音楽や言語、教育、建築・都市空間など、さまざまな形に表れています。
初回では、この二つの都市を拠点に活動するピアニストによる音楽を通した文化の交流を取り上げ、二回目は、子どもの名前や外来語から最新のスペイン語事情に迫るとともに、カタルーニャ語における日本語の受容や、ガリシア語とポルトガル語の関係から地域言語とアイデンティティの深層に迫ります。三回目では、日本に暮らすスペイン語母語話者に対する「継承語としてのスペイン語教育」と、スペインにおける「日本語教育」を双方向から取り上げます。学習者の母語と教材のずれが言語習得に及ぼす影響など、移動する人々のリアルな言語事情と課題について検討します。最終回には建築と空間に目を向け、歴史や記憶を受け継ぎながら、既存の建築や都市空間を現代に生かす試みについて考察します。
四回の講座を通して、スペイン語圏と日本とのつながりを、音楽、言語、教育、建築という異なる領域から捉え直します。

統括コーディネーター　有田節子

主催：立命館大学国際言語文化研究所　　お問合せ先：国際言語文化研究所事務局 genbun@st.ritsumei.ac.jp

言葉が開き、空間が語る世界
―スペイン語圏から京都へ、響き合う4つの旅―

コーディネーター・司会：有田節子（立命館大学言語教育情報研究科　教授）

10/9(金)　17:00〜19:00
以学館IG102 ＋ ZOOMウェビナー

MÚSICA

音を拾いに、世界へ。
〜鍵盤は、地球をめぐる線路 スペイン語は、出会いの扉を開く鍵〜

開会挨拶：河原典史（立命館大学 国際言語文化研究所 所長／文学部 教授）

川上ミネ（ピアニスト・作曲家）

「音を拾いに、世界へ。
〜鍵盤は、地球をめぐる線路 スペイン語は、出会いの扉を開く鍵〜」

京都とサンティアゴ・デ・コンポステラの二大聖地に拠点を置くピアニストを迎え 、各地の風土や精神性がどのように音へ昇華されるかを考察します 。旅情あふれるトークとピアノ演奏を交え、身体感覚を通して二つの世界を繋ぐ、講座の特別なプロローグです 。

10/16(金)　17:00〜19:00
平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
＋ ZOOMウェビナー

LENGUAS E IDENTIDAD

ことばの現在地とアイデンティティ
ースペイン語・ガリシア語・カタルーニャ語のダイナミズムと日本ー

福嶌教隆（神戸市外国語大学 名誉教授）
「スペイン語の今（キラキラネーム、日本語からの外来語など）」

柿原武史（京都大学 教授）
「ガリシア語のアイデンティティ： ふたつの言語の狭間で揺らぐ
ガリシア語の規範とポルトガル語圏への新たな眼差し」

長谷川信弥（大阪大学 教授）
「カタルーニャ語のなかの日本語--日本の何が伝わっているか」

現代スペインの多言語社会のリアルと、海を越えた日本との意外な繋がりを、3名の専門家によるリレー形式で解き明かします。 まず、スペイン語の「今」として、現代の命名事情（キラキラネーム）や日本語由来の外来語など、生きた言葉の変容を取り上げます。続いて、スペイン北西部のガリシア語に焦点を当て、スペイン語とポルトガル語という巨大な言語の狭間で揺れ動く言語規範と、独自のアイデンティティを模索するダイナミズムに迫ります。さらに、カタルーニャ語のなかに息づく「日本語」を分析することで、遠く離れた日本の文化やイメージが現地でどのように受容されているかを考察します。 「ことば」が個人のアイデンティティといかに結びつき、また異文化とどのように交差していくのかを多角的に論じます。

10/23(金)　17:00〜19:00
平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
＋ ZOOMウェビナー

ENSEÑANZA DE LENGUAS

移動する人々と育まれる言葉と文化
ー日本におけるスペイン語教育とスペインにおける日本語教育ー

松井健吾・Veri FARINA BECSKI（神田外語大学 准教授）
「日本における継承語としてのスペイン語ー大学で継承語を教える・学ぶー」

Carlos RAMOS FUENTES（立命館大学国際言語文化研究所 客員協力研究員
／バルセロナ自治大学大学院 博士後期課程）
「借り物の教科書、借り物の誤用
――スペイン語母語話者のための日本語教育再考」

国境を越えて「移動する人々」の言語文化の学習や言語保持に焦点を当てます。日本で暮らすスペイン語圏にルーツを持つ大学生を対象にした「継承スペイン語教育」の実践と課題。そして、スペイン現地における「日本語教育」のリアルな現状と、既存の英語圏向け教材に依存しない新たなアプローチの模索。双方向の視点から、ルーツやアイデンティティといった要素を含め個人が持つ複言語・複文化性に言語教育がどう向き合うかということを一緒に考えていきます。

10/30(金)　17:00〜19:00
平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
＋ ZOOMウェビナー

ARQUITECTURA Y PAISAJE

スペイン語圏の建築と風景、そして私の仕事

宮本佳明（宮本佳明建築設計事務所 主宰／早稲田大学 教授
／早稲田大学芸術学校 校長）
「スペイン語圏の建築と風景、そして私の仕事」

ディスカッサント：**川上聡**（川上聡建築設計事務所 主宰
／京都精華大学 准教授）

「環境ノイズエレメント」という概念を提唱し、風景を歴史、記憶、時間、意図の重層として批評的に読み解くアプローチで知られる建築家・宮本佳明氏が、独自の視点でスペイン、中南米の建築と風景を紐解きます 。建築のみならず、現地の風土や歴史が刻まれた土着の風景を独自の眼差しで解体し、空間に宿る記憶と先人の意図をいかにすくい上げるかについて論じます 。後半は、京都を拠点に先鋭的な設計活動を展開する建築家・川上聡氏をディスカッサントに迎え、古い建築を未来に向けていかに「リノベーション」して共生していくか、歴史都市・京都にも通じる普遍的な問いについて語り合います 。

立命館大学 国際言語文化研究所　2026年度連続講座

言葉が開き、空間が語る世界
―スペイン語圏から京都へ、響き合う４つの旅―

トークとピアノ演奏

第1回　川上ミネ 特別講演

音を拾いに、世界へ。
～鍵盤は、地球をめぐる線路
　スペイン語は、出会いの扉を開く鍵～



音とは、時空を超えて「祈り」を運ぶ乗り物。 言葉を超越して、心に直接届く調べを探して――
「地球は美しく尊い音であふれている―」 心が求める音を探し、世界を旅してきた、ピアニスト川上ミネ氏。戦乱の歴史を持つ欧州や南米に対し、日本ほど人の祈りによって「古い音」が途切れず伝承されている国はないと彼女は語ります。いにしえの記憶が染み込んだ音や言葉は、時空を超えて人々の願いを運ぶ「乗り物」となり、言葉を超越して私たちの心を直接癒やしてくれます。NHKラジオ『川上ミネの音狩りの旅』ともリンクする本講座。世界中で拾い集められた音の記憶に耳を傾ける、特別な講座です。

日　時　10/9(金)　17:00～19:00

会　場　以学館IG102 ＋ ZOOMウェビナー

参加方法　右のQRコードより事前登録をお願いします。
オンライン参加の方は講座前日に参加URLを
ご登録いただいたメールアドレスにご案内します。

事前登録↓
https://
x.gd/MGkKd

川上ミネ（ピアニスト・作曲家）

愛知県長久手市生まれ。3歳でピアノを始め、愛知県立明和高等学校音楽科、ミュンヘン国立音楽大学ピアノ科、マドリッド国立音楽大学院ピアノ科を卒業。現在はスペインの巡礼地サンティアゴ・デ・コンポステーラと、京都の二拠点に居住し、国内外で精力的に活動を展開している。直近では2026年6月にコロンビアのヘリコ国際音楽祭に出演。本講座直後の10月24日には春日大社での奉納リサイタルを控える。

主な音楽作品・活動

- 「アニメ・モリゾーとキッコロ」（愛知万博2005年 NHK）
- 「猫のしっぽ カエルの手 ～京都大原 ベニシアの手作り暮らし」（NHK 2009～2014年）
- スカイマーク機内オンエア テーマ曲『スカイブルー』
- NHKラジオ第1『夕刊ゴジらじ！』内コーナー「川上ミネの音狩りの旅」（2026年4月から放送中）
- NHK Eテレ『しあわせ気分のスペイン語』に楽曲を提供すると共に月に1回出演。
- オリジナルアルバム『Santiago de Compostela』『NAGAKUTE』ほか多数

Schedule

第2回　10/16（金）「ことばの現在地とアイデンティティ ースペイン語・ガリシア語・カタルーニャ語のダイナミズムと日本ー」
第3回　10/23（金）「移動する人々と育まれる言葉と文化 ー日本におけるスペイン語教育とスペインにおける日本語教育ー」
第4回　10/30（金）「スペイン語圏の建築と風景、そして私の仕事」
会場：立命館大学 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム ＋ ZOOMウェビナー

主催：立命館大学国際言語文化研究所　　お問合せ先：国際言語文化研究所事務局 genbun@st.ritsumei.ac.jp